

2024年6月17日

Stage 0-III のホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する初回治療として  
内分泌療法を選択した症例の臨床経過

◆研究の目的と概要◆

当院では、本来外科手術が推奨される stage 0~III でありながら、初回治療として内分泌療法を選択したホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳がん患者さんの臨床経過を調べています。今回の調査結果を、高齢や併存疾患などの理由で手術療法がためられる患者さんに対して治療方針を決定するための一助とすることで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2011年1月~2020年12月の間に当院でホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳がんと診断した18歳以上の方のうち、初回治療として内分泌療法（ホルモン療法）を行った方。

◆研究に使用される情報◆

性別、診断時の年齢、乳がんの病理学的所見（内分泌受容体・HER2 の発現量、Ki-67 スコア）、臨床病期、併存疾患、全身状態（パフォーマンスステータス）、外科手術を選択しなかった主な理由、初回治療の内容、初回治療中の増悪日、初回治療の終了日、後治療の内容、最終診察日、死亡例では死亡日・死因、経過中の乳がんによる症状の有無と内容

◆情報の研究利用開始日◆

2024年7月3日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 上野 彩子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明